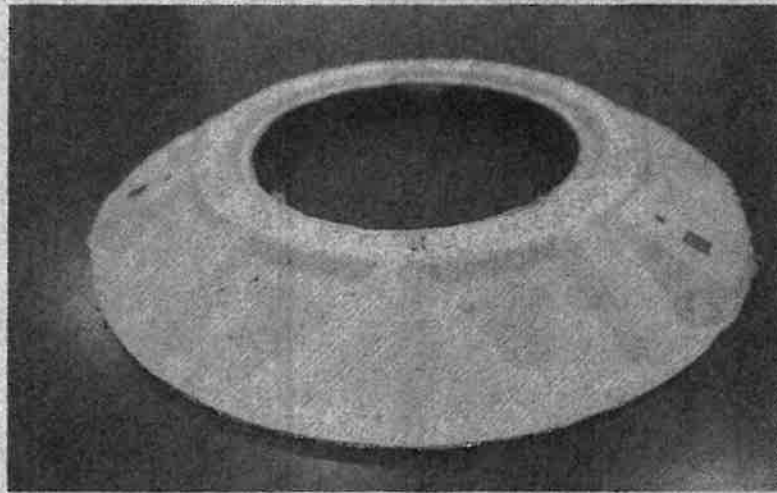


古紙などに雑草由来の繊維を混ぜて製作したカバー



# 古紙に雑草混合さび防止カバー製作

## ブレーキ保護用に実用化

### 自動車部品のセキソー

自動車用の消音タクトなどを製造する

セキソー(本社岡崎市日名北町1の3、

山田昌也社長、電話0564・25・2

121)は、古紙などに雑草由来の繊維

を混ぜて、ブレーキのさび防止カバーを

1割強を雑草由来の繊維にしている。

今後、長野県産のイネ科の穀物「ソルガム」を活用することも検討している。

さび防止カバーは輸出する車両のホイール部分に取り付け、潮風からディスクブレーキを守る役割を果たす。現在は月

1万〜2万個程度を製作している。

同社は1954年に長野県岡谷市で設立した。当初は紙すきで、自動車の車内

## 環境保全などに貢献

収納に使うグローボックスを製造していた。「数年前から祖

製作した。すでに実用化している。雑草

を燃やして処理する際の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)

削減や地域貢献につなげている。

同社は古紙や廃段ボール、使用済み用

紙に、岡崎市が回収した雑草やゴルフ場

で出た芝由来の繊維を混ぜ、紙すきの製

法でさび防止カバーを製作している。雑

草などを月1ト程度使い、カバー全体の

業の紙を生かした製品の開発を考案してきた(山田社長)という中で、さび防止カバーを商品化した。

今後も同様の材料による製品の拡充を

視野に入れており、現在はボディに取り

り付ける小さなカバーを開発、提案中と

いう。